

4月5日(火)「愛とヒューマン&建築とまちづくり支援先遣隊」カー 出発

愛とヒューマンのコンサート委員会(今野強氏、和子氏、林真山氏)と新建築家技術者集団東京支部幹事(千代崎、山下)

21:00 板橋の事務所から車で、坂戸の今野宅まで行き、そこから支援物資を積み込んで、仙台に向かって出発。町会長さんが見送りしてくれた。板橋区に「災害派遣等従事車両証明書」を発行してもらい関越道と東北道の高速料金が無料になった。

翌6日 1時30分に仙台市青葉区山手町のマンション着

4月6日(水) 行動メモ

6:30・宿泊先のマンション(青葉区山手町)

室内は異常がないが、外壁にはヒビが入っている。傾向を調査して構造的なチェックが必要。トイレの水が下がる。地震以降の減少なら、排水管あるいは通気管に異常が生じている可能性がある。

・隣のマンション 外壁にヒビが確認できる。

・周辺を調査(荒巻本沢2丁目周辺)

セントラルプラザヨークベニマル (閉鎖)

エントランスの天井が落ち、窓ガラスが割れて散乱している。外壁のタイルがかなりの枚数落ちている。

コンビニエンスストアー

外観の被害は見られない。7時から営業。商品は飲食類はほとんどない。

マンション ハイネス荒巻

被害が大きく、住民は全戸避難している。玄関には立ち入り時間が制限されていて、住民がそれぞれ避難している場所が貼られていた。

10:00 高橋正行さん(宮城県高等学校・障害児学校教職員組合執行委員長)と青葉区柏木の高教組の事務所で会う。打ち合わせと白百合の贈呈、尺八を演奏した。

仙台市内地図を入手。

・高教組(4階)のあるフォレスト仙台は、1階の内部の壁がかなり落ちていた。

・青葉区柏木周辺の中小ビルには被害が出ている。

名取市役所 本部機能と地域センター両方を持っているようだ。名取市内地図を入手。

掲示板には、行方不明の家族を捜しているたくさんの掲示があった。

伝言板の内容は切なく言葉にならない。子どもの写真に思わず涙がでた。

<名取市内閉上(ゆりあげ)地区>

仙台東部道路の海側の津波被害はすごいが、陸側でも通過道路部分は津波跡がわかる。

高橋氏義妹沼田宅跡を見る。周辺の被害を沼田夫妻から説明を受ける。ご子息は津波にあったが脚力を生かし無事だった。白百合を手向け尺八を演奏した。

岸壁までひどい被害、木造は根こそぎ持って行かれたようである。

鉄骨の製氷場は構造の鉄骨と階段は無事で、最上階にあがれる階段がある。津波に対する知識があれば助かったのではないかと思う。

日和山 人工の丘で津波に流された地域が一望できる。この上に逃げた人も津波が来て助からなかった。頂上にあった大きな石碑が倒されていた。1000名が亡くなり、1000名が行方不明、そこから2000名の命を見ていたことになる。白百合を手向け尺八演奏。

日和山の上には、お地蔵さんがあり、地震の起こった14時46分にはたくさん人が花を持って上がって来た。亡くなった人と会いに来ているようだった。

3階階段室タイプの住棟は無事。2階までは水が入ったようではあったが、まわりは壊滅状態でも、住棟は残っていた。水の流れにも長手方向が一致していて、影響が少ないこともあり、構造的には津波に耐えたことがわかる。ただ、陸屋根に出ることはできず、近くの人たちが逃げ込む場所にはならなかったようである。

<宮城県農業高等学校（生徒720名）>

100年記念館を持つ歴史ある学校。周りは泥と自動車とタイヤが散乱している。古タイヤを回収している工場が学校の横にあり、農業高校の畑にかなりの量のタイヤが山になっていた。

校舎がだめなら、廃校にして3校に転入させる予定らしいが、そのうち1学校は校舎が遠く、父兄からも意見が寄せられていて、教職員組合でも検討しているとのこと。

校舎を改修して使えるのかも知りたい意向があった。診断かどうかを検討したい。

<名取市の避難所16ヶ所 避難住民数1777人ー3/31現在>

・名取市文化会館（避難住民408名）

建物外では山形の小国町からボランティアが豚汁とワタ飴を提供していた。

文化会館は新しく、トイレもいくつもあり、外周も広々としていた。避難住民は多いが、避難所としては比較的居やすい感じがした。

・名取市増田中学校（避難住民60名）

白百合を贈呈して、尺八演奏。「こういうのならいつ来ても歓迎、津波が来るのはいやだけど」と言われた。飛び込みであったが、快く演奏をさせてくれた。学校は古いようだが、体育館の広さの割に避難住民が少なく、個別に仕切りもおいてあった。

・名取市館腰小学校（避難住民227名）

白百合を贈呈して、尺八演奏。校舎は補強工事を行っていて異常なし。体育館にはかなり人がいて密度が高い。支援物資を床に置くスペースがなく、舞台の上だったせいもあり、その前に自治体の人やボランティアの人が机に一列に並んでいて、少し違和感があった。

避難住民が多いということは、大変なことだと実感した。

<今後の打ち合わせと交流>

18:00 名取市手倉田諏訪で高橋正行さんと美恵子さん（高校の国語の教師）、今野強さん、和子さん（看護師）、尺八奏者の林真山さん、千代崎、山下で食事をしながら懇談。被災地への支援のイメージがつかめた。支援する人を支援する（連帯・団結）
文化的支援「2000の命とともに 日和山コンサート 鎮魂と連帯」サイレントタイムを「気仙沼（高橋さんのふるさと）にも是非行ってほしい」と言われた。

<写真は関上地区>



日和山の上から



鉄骨の製氷場



階段室タイプの住棟



遺体が見つかった場所に白百合を供え、尺八の演奏



名取市館腰小学校の避難所

4月7日（木）行動メモ （日本建築学会東北支部調査速報を参考にまわった）

<名取市若林区>

若林区区役所で地図を入手。

若林区成田町でペントハウスが傾斜したRC造6階建てのマンションを見た。

撤去工事中だった。



店が崩壊、道路の両側で壁が落ちたり、窓ガラスが割れたりしている。ブルーシートも目立つ。



大和町5丁目の3階建てRCの2階部分が崩壊



大和町5丁目の14階建てマンション ブルーシートで覆われた開口部の被害が全戸に見られる。

